

平成21年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	37	学校名	常北高等学校			課程	全日制		学校長名	渡邊 一夫						
教頭名	原田 令子								事務(室)長名	坂場 政己						
教職員数	教諭	14	養護教諭	1	常勤講師	3	非常勤講師	3	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	2	技術職員等	2	計	29
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計	クラス数			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	37	20	37	17	16	11			90	48	138	5			
	科															
	科															

2 目指す学校像

創立以来46年の歴史と伝統に基づき、校訓の「至誠、勤勉、協和」の精神を徹底させ、心身ともに調和のとれた人間形成を図るとともに、地域社会に貢献できる学校づくりを目指す。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	高校生基礎学力向上サポートプラン及び少人数による学習指導改善推進事業により国語・数学・英語で小人数授業を実施しているが、基礎学力の定着度は未だ不十分である。	教員の授業力の向上を図り、個に応じた指導を実現することで、基礎学力の定着とともに生徒に達成感を与える。
進路指導	平成20年度の進路状況（卒業生32名）は、進学11名、就職17名、未定4名であり、不況の中、生徒の個性に応じた早期からの進路指導が一層必要な状況である。	進路ガイダンスやインターンシップの全員実施を通して、低学年からキャリア教育を推進し、進路意識を育てる。
生徒指導	落ち着いた生活態度の生徒が大半だが、一部の生徒に基本的な生活習慣や規範意識の欠如が見られる。挨拶の励行や日常の頭髪・服装指導による社会的常識の涵養と場に応じたコミュニケーション力の育成が重要な現状である。	授業開始時に頭髪・服装指導を行い、好ましい学習環境づくりとともに基本的な生活習慣の育成を図る。
特別活動	生徒数の減少等により、部活動が全般的に低調であり、1年生の1学期全員部活動加入で活性化を図っている。また、共同宿泊学習や修学旅行によって積極性を育てる必要がある。	1年生を含む部活動を全教員で指導し、放課後の活動を充実させる。生徒の積極性を育てるホームルーム指導を行う。

4 中期的目標

1	学校行事を精選し、授業時間を確保するとともに、1時間、1時間の授業の充実を図る。
2	授業や特別活動等を通して心の教育に努め、モラルやマナーを身に付けさせ、基本的生活習慣の確立を図る。
3	挨拶の励行を促進するとともに、遅刻防止や時間厳守の態度を身に付けさせる。
4	部活動への加入を促進し、学校活性化に努め、個性の伸長と忍耐力・体力の向上を図る。
5	国際理解教育を推進して、国際社会に生きる人間の育成を図る。

5 本年度の重点目標

重点項目		重点目標
1	基礎学力の向上と学習意欲の喚起	① 綿密な教材研究や少人数編成授業等を通して、わかりやすい授業の展開に努める。
2	基本的生活習慣の確立	② シラバスを活用して、学習意欲を喚起する。 ③ 県の高校生基礎学力向上サポートプランに基づき、基礎学力の定着を図る。
3	希望する進路の実現	④ 頭髪・服装指導や遅刻防止等の徹底により、基本的生活習慣の確立を図る。 ⑤ 登下校時の挨拶、授業の始まりや終わりの挨拶、校内での挨拶を徹底する。 ⑥ 年3回の計画的な生徒面談や家庭訪問等により、生徒理解に努める。
4	特別活動の活性化	⑦ 3年間を見通した計画的な進路指導を実施する。 ⑧ 職場見学、キャンパス見学、2年次における生徒全員のインターンシップ等の体験的な活動を通して、進路意識の高揚を図る。 ⑨ 資格取得の奨励を通して、より確かな進路実現を図る。
5	地域から信頼される学校づくりの推進	⑩ 生徒の部活動等への積極的な参加を促し、放課後の充実した過ごし方の指導に努める。 ⑪ 学校行事、生徒会活動やホームルーム活動を通して、生徒の積極性を育成する。 ⑫ ホームページや広報紙等の充実を図り、保護者・地域への積極的な情報の提供に努める。 ⑬ 学校評議員や地域の中学校等の意見を取り入れ、地域と連携した教育を推進する。 ⑭ 計画的に外部への公開授業を実施し、本校に対する理解の推進を図る。